

自習用課題解答

- (1) We are on *good terms with all our neighbors* except the couple upstairs.

be on good terms with ～で「～とうまくやっている」という意味のイディオム。

- (2) After its discovery, penicillin *was of benefit in treating the wounded* in the Second World War.

of+抽象名詞で形容詞の働きをする。また、the+形容詞で「～の人々、～の物」という意味である。

- (3) Jane is said *to have done it without any difficulty*.

S is said to V は「V するといわれている」という受動態の類出表現。「言われている」のは現在、「仕上げた」のは過去のことであるので、時制をずらすために to 以下を完了形にしている。

- (4) With *inflation soaring, medical costs are difficult to control*.

with+O+C で「O が C の状態で」という、付帯状況を表す。

主節は、形容詞を限定する不定詞の副詞的用法を用いて書かれている。この用法には注意が必要。to 不定詞の目的語に当たるものが、文全体の主語になる。

以下に例を挙げる。

The river is dangerous to swim in. (その川は泳ぐのには危険だ。)

swim in の目的語が the river になる。よって、swim の後ろに in が必要であるし、また、in の後ろに it や the river といった目的語を置いてはならない。

- (5) You *should have put part of your salary in* the bank each month.

should have Vp.p. で「V すべきだったのに」という意味である。

完了助動詞について以下に挙げておく。

must have Vp.p.	: 「V したに違いない」
cannot have Vp.p.	: 「V したはずがない」
may have Vp.p.	: 「V したかも知れない」
should have Vp.p.	: 「V すべきだったのに」
should not have Vp.p.	: 「V すべきではなかったのに」
need not have Vp.p.	: 「V する必要はなかったのに」

助動詞に関して注意しておきたいのは、**助動詞の過去形は、過去の意味ではない**ということである。過去の意味を表すために、上記のような完了助動詞が存在する。

- (6) *Let me have a look at* your notebook.

let の語法の問題。let は **let+O+動詞の原形**という形で用いる。

- (7) Larry *suggested to his girlfriend that she commute* by train.

要求・提案・命令を表す語の後ろにくる that 節内では、**動詞は常に should+原形**または**原形のみ**にする。

また、suggest は第 4 文型を取ることが出来ない動詞である。

- (8) This furnace *helps to keep the reactor at the right temperature*.

help の語法は頻出。以下にまとめておく。

help O (O は生物のみ) / help with 物 / help O with 物 / help (to) V / help O (to) V

また、keep の前に to がついているが、to がついても、他動詞には目的語が必要である。本問では、keep の後ろに目的語である the reactor を置く。さらに、keep+O+C で「O を C に保つ」という意味。

- (9) The night was so quiet that even *a leaf might have been heard to fall*.

知覚動詞の受動態に関する問題。**知覚動詞は、能動態の補語に動詞の原形が来る場合、その文を受動態になおすと、動詞の原形の前に to が復活する。**

本問は、we might have heard a leaf fall を受動態にした形である。

- (10) His injury *required that he should have his leg* operated on.

require は「～を要求する」という意味の他動詞なので、that 節内の動詞を should+原形にする。

あとは、使役動詞 have の用い方の問題。**have+O+C** で「**当然するべき立場にある O に C してもらう、O を C される**」という意味。

have の後ろに何が来るのか、ということについては、授業内で扱う「知識の整理」を確認しておきたい。

- (11) I am determined to *do what I think is right*.

連鎖関係詞の問題。本問では、I think が挿入されており、is に対応する主語が what である。「言う」「思う」といった動詞と関係詞が出てきた場合には、連鎖を疑いたい。

- (12) *A little more care would have spared her* a great deal of trouble.

仮定法を用いた問題。助動詞の過去形を見たら仮定法を疑うこと。
spare は spare O₁O₂ で「O₁にO₂をかけない」という意味になる。

- (13) *No amount of persuasion could make him* change his mind.

無生物主語および使役動詞の問題。使役動詞 make は、make+O+C で「OにCさせる」という意味。なお、Cの部分には、原形か過去分詞形しかこない。

本問を直訳すると、「ゼロの説得が、彼に心を変えさせることができるだろう」という意味。

- (14) He *spends twice as much pocket money as I do* every month.

比較の問題。「O倍」という表現は、as ~ as の前に Otimes を置く。
ただし、2倍の場合は two times ではなく twice.

- (15) *None are so deaf as those* who will not listen. (there 不要)

比較の問題。まず、are の前に置けるものが none か there であるので、どちらかが不要であると見当をつける。あとは、最上級の書き換えが思い浮かべば答えは出せる。

さらに、those who ~ で「~な人々」という意味。

- (16) This story *reminds me of the village in which* I was brought up. (remember 不要)

まず、remember と reminds のどちらかが不要であると見当をつける。
remind O of ~ で「Oに~を思い出させる」という意味になることが思い浮かべば答えは出せる。

さらに、in which の後ろに注意。前置詞+関係代名詞の後ろには完全文が来る。

- (17) Do not ***open the door to any stranger no matter how harmless*** he seems. (what 不要)

関係詞の問題。まず、what と how のどちらかが不要であると見当をつける。

命令文であることから、Do not の後ろには動詞の原形が、さらに、open は他動詞であることから、目的語に the door を置く。

肯定文中の any は「どんな～も」という意味。本問であれば、「どんな見知らぬ人に対しても」という意味になる。

what と how 以外の no matter と harmless は用いることになり、no matter how+**形容詞・副詞**の形が浮かべば what が不要であるとわかる。

- (18) ***If I had money I would buy a car.***

(訳) お金があれば、車を買うだろう。

仮定法を用いた問題。助動詞の過去形を見たら仮定法を疑うこと。

- (19) Look at the sign. It says, ‘At no ***time must this door be left unlocked.***’ I wonder what’s inside.

(訳) 掲示を見てごらんください。「このドアは必ず施錠しておかなければならない」と書かれているよ。中に何があるのだろう。

no の後ろには名詞が必要であるが、ここに time を置くことは可能である。

文頭に否定の副詞(句・節)が来ると、後ろは疑問文の形にしなければならない(強制倒置)。

- (20) ***The last thing they wanted was for the newspapers*** to find out that they were soon to be married. They had not even told their friends or relatives about it.

(訳) 彼らが決して望まなかったのは、自分たちがまもなく結婚することを新聞に知られるということであった。友人や親戚にもそのことについて話していなかったからだ。

まず、文の主語と動詞を特定する。動詞は wanted と was があるが、they was はあり得ないので they wanted とする。They wanted the last thing for the newspapers としてしまうと、was が余ってしまう。そこで、The last thing they wanted for the newspapers was としてしまうと、「新聞のために彼らが望まなかったことは」という意味になってしまい、意味をなさない。そこで、The last thing they wanted was for the newspapers とする。for the newspapers は to find out の意味上の主語を表現している。

- (21) Try to select some of those stories which ***you think are among*** the best. (them 不要)

(訳) その物語の中から、最良だと思うものを選ぶようにしなさい。

関係詞の問題。(16)で述べた、連鎖関係詞が分かれば答えは出る。

- (22) When you feel tired, ***there is nothing like having*** a bath.

(訳) 疲れている時には、風呂に入るのは最高である。

there is ~ 「～が存在する」の構文を用いる。like は「～のような」という意味の前置詞であることから、後ろには名詞または動名詞を置く。have は他動詞であることから、having という形になっても後ろに目的語を置かなければならない。

- (23) ***I hope you can help me with my homework Saturday night.***

(訳) 日曜日の夜、宿題を手伝って欲しい。

help の語法を問われている。help は **help O with 物** という形を取る。また、hope の後ろには接続詞の **that** が省略されている。

- (24) ***I wonder if there's anything interesting*** on TV tonight.

wonder if / 疑問詞 SV 「SはVだろうか(不思議に)思う」という頻出表現を用いた問題。

- (25) ***All you have to do*** is go and tell her who you are.

All S have to V is (to) V'. 「SがVすべきことはV'することだけだ」という頻出表現を用いた問題。

- (26) What ***do you say to taking a walk by the seaside*** this evening?

What do you say to Ving? 「Vしませんか」という頻出表現を用いた問題。

- (27) As ***far as math is concerned***, Jonathan is not in the same league as Howard.

as far as S is concerned 「Sに関する限り」という頻出表現を用いた問題。

- (28) I cannot *imagine what life would be like without* my cell phone.

what S is like「Sはどのようなものか」という類出表現を用いた問題。
what 以下の動詞に would という助動詞の過去形を使うことから、仮定法であることが分かる。よって、without my cell phone は「携帯電話がなければ」という意味になる。

- (29) *You had better not travel* on the subway during the rush hour.

had better の否定形に関する問題。had better の否定形は had better not である。had not better V や had better not to V としないこと。

- (30) *Had it not been for your* help, you would have failed.

主節に助動詞の過去形があることから、仮定法であることが分かる。Had it not been for は If it had not been for の if を省略して倒置した形。

- (31) I could not *decide which way to choose*.

疑問詞+ to V に関する問題。which + 名詞 + to V という語順に注意。

- (32) For people *who love nature nothing is more refreshing than* green woods and a mountain stream.

比較に関する問題。語群に nothing 及び more という比較級が存在することから、Nothing is 比較級 than ~ 「~ほど…なものはない」の形を用いることが分かる。

- (33) Jeff, *the last thing I want you* to do is to give up without trying.

(訳) ジェフ、君に一番して欲しくないのは、挑戦せずに諦めることなんだ。

語群に last があることから、the last 名詞 + 関係詞節「もっとも～ではない名詞」という形を作ることが分かる。

- (34) We will meet you *at the station no matter what time your* train arrives.

語順に注意が必要な問題。whatever / no matter what + 名詞 という語順になる。

- (35) I *owe my life to the fact that by* pure chance I took an earlier train than usual.

owe の語法を思い浮かべる。owe A to B 「A は B のおかげだ」という形を取る。fact は同格の that 節を取ることが出来る名詞である。

- (36) With *your good advice, he would not have suffered* such a loss.

語群に助動詞の過去形があることから、仮定法であることを見抜く。with ~で「～があれば・あったら」という意味である。

- (37) It *was not until I climbed that mountain that I* knew the pleasure of mountain-climbing.

It is not until SV that S'V'. 「S が V して初めて S'は V'する」という頻出表現を用いた問題。

- (38) My hometown *is different from what it used to be*.

what S used to be 「昔の S」 という頻出表現を用いた問題。

- (39) The more I looked at this picture the more attractive it looks.

the 比較級 1 SV, the 比較級 2 S'V' 「～すればするほどますます…」という頻出表現。本文が The で始まっていること、「見れば見るほど」という日本語が与えられていることから、この構文を使うことを見抜く。

- (40) You will be late *no matter how fast you drive* in this weather.

語順に注意が必要な問題。however / no matter how + 形容詞/副詞 + SV という語順になる。